

地域おこし協力隊

がゆく



▲故郷の干しいもが完成しました！

地域おこし協力隊の間瀬です。地域おこし協力隊の事業として、市内で「干しいも」の生産を始めました。昨年末から、道の駅常陸大宮「かわプラザ」にご協力をいただき、試験販売を行っています。

私は常陸大宮市に来て初めて干しいもを食べました。本当においしいですね。しかし県外での知名度はそれほど高くありません。多くの人に知ってもらえれば、まだまだ需要がある伸びしろのある商品に感じ、干しいも作りを決意しました。今回協力隊として作っている干しいもには3つの特徴があります。1つは市内の金鉢山の跡地である洞窟をサツマイモの貯蔵庫として使っていること。2つめは市内の森林資源による薪を使って蒸していること。3つめは完全天日干しであること。この様に中山間地である本市の特徴を生かし、昔ならではの作り方で作っています。

買ってくださる皆さんに「自然」を感じて欲しいという想いを込めています。干しいも作りには多くの方々関わっています。30歳から79歳という幅広い年齢の皆さんに協力していただき、会話して楽しみながら、干しいもを作っています。人と人との繋がりにより、少しずつですが経済も回ってきているように思えます。これからもおいしい干しいも作りを目指し頑張っていきます。どうぞ常陸大宮市産の「故郷の干しいも」をよろしくをお願いします。

VOL.55

職員のつぶやき ~職員リレートーク~



▲左から坏さん、鈴木さん、関口さん

水道課の関口一稀です。水道工事の監督や漏水対応を主に行っています。

当初は水道に関する専門用語や資材の多さに戸惑いました。漏水の通報があった時は土日、昼夜問わず現場に駆けつけなければなりません。このような日々の中で、水が人々の生活に欠かせないものであることを実感しました。

これからも責任感を持って業務に取り組みたいと思います。

下水道課の鈴木龍之介です。主な業務として、下水道促進週間コンクールに関する事務や、下水道の配管状況の照会などを行っています。配属された頃に比べ、職場の環境や業務にもだんだん慣れてきました。まだまだ分からないことも多く勉強の毎日です。また、社会人1年目でもあり、至らない点もあると思いますが、これからも日々の業務に励み、市に貢献できるよう精進いたします。どうぞよろしくお願いします。

水道課の坏由基です。私が所属する施設グループは、市内全域の水道施設の維持管理や、異常対応などを主な業務としています。配属されてから半年以上が経ち、業務にも慣れてきましたが、まだ分からないことも多く、上司に助けていただきながら業務に取り組む日々を送っています。

市民の皆さんに安心して水を使用していただけるよう、私にできることは些細なことではありますが、日々の業務に全力で取り組んでまいります。よろしくご祈り致します。